お知らせカレンダー



目	月	火	水	木	金	±
4/30	1 ■燃やせるごみ (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦) ■燃えないごみ (獅子島)	2 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	(平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦) ■資源ごみ	4 みどりの日 ①北国医院 72-0016 ○おかだクリニック 63-7011 ○白男川歯科医院 63-0009 □上野薬局 72-1016 □トクモト薬局 62-0998 ◇出水総合医療センター 67-1611	5 こどもの日 ○鷹巣診療所 86-0054 ○脇本病院 75-2121 ○せき耳鼻咽喉科クリニック 64-1187 ○白男川歯科医院 63-0009 □長島調剤薬局 64-5555 □三文字薬局 75-0073 □メープル薬局 62-9292 ◇にのみやこどもクリニック 62-0167	6
 → 林胃腸科外科 73-3639 ○ さくら通りクリニック 62-2311 ○ 福田クリニック 79-3775 ○ こじま歯科医院 63-4618 □ 本町薬局 73-3233 □ さくらんぼ薬局 68-7000 ◇ しみずこども医院 68-0633 	8■燃やせるごみ (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦)	●燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	10 ■資源ごみ・燃えないごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) ◎ 3歳6カ月児健診 (保健福祉センター)	11 ■燃やせるごみ・天ぷら油 (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦) ◎乳児健診 (保健福祉センター)	12 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島) ■天ぷら油 (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) ◎ろばカフェ (町文化ホール)	13
14 ○平尾診療所 88-2595 ○植村整形外科 72-1041 ○わかすぎ皮フ科クリニック 64-1313 ○福田クリニック 79-3775 ○村岡歯科医院 62-0601 □会営薬局阿久根店 72-5060 □オレンジ薬局 79-3972 ◇出水総合医療センター 67-1611	(平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦) ■燃えないごみ (獅子島)	16 燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	17 ■資源ごみ・燃えないごみ (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦) ■資源ごみ (獅子島) ◎母子相談 (2カ月) (保健福祉センター)	18 ■燃やせるごみ (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦)	19 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	20
21 ○鷹巣診療所 86-0054 ○有村産婦人科・内科 73-4180 ○荘記念病院 82-3113 ○福田クリニック 79-3775 ○楠元内科医院(歯科)79-3351 □長島調剤薬局 64-5555 □さかえまち薬局 72-0978 □しもずる薬局 64-2211 ◇こどもクリニック永松 64-1500	(鷹巣・諸浦)	23 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	24 ■資源ごみ・燃えないごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) ■びん・有害 (獅子島) ◎幼児歯科検診 (保健福祉センター)	25 ■燃やせるごみ・天ぷら油 (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦)	26 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島) ■天ぷら油 (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底)	27
28 ○内山病院 73-1551 ○整形料ばばぐちクリニック 64-8260 ○福田クリニック 79-3775 ○ちゃえん歯科 67-2325 □本町薬局 73-3233 □フタヤ薬局 67-5253 ◇出水総合医療センター 67-1611	29 ■燃やせるごみ (平尾・蔵之元・川内) (鷹巣・諸浦)	30 ■燃やせるごみ (城川内・指江・下山門野) (山門野・川床・浦底) (獅子島)	31	6/1	6/2	6/3

※行事予定・当番医等は都合により変更される場合があります。(○休日当番医、□休日当番薬局、◇小児当番医 10 時~正午) 当番医の利用は急患に限ります。ご協力ください。

祝日には、国旗を掲げましょう!

- ●5月3日は憲法記念日です。 憲法記念日は「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」ことを趣旨としています。
- ●5月4日はみどりの日です。 みどりの日は「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ」ことを趣旨としています。●5月5日はこどもの日です。 こどもの日は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」ことを趣旨としています。